

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

佇みて夕映えに見る師の歌碑に面影遠く潮騒高し
穂の垂れし稲田に群るる秋あかね光となりて夕日にまぎる
偶然に点けたるテレビの映像のお節料理に釘づけとなり
深みゆく秋の雲見つダイケアの送迎車の窓にコバナセンナ愛す
車椅子乗る人押す人共に古い病院のロビーわが前を過ぐ
この年も百舌鳴く山田に稲を刈る病に臥する夫を想ひつ
夏花と思へど黄なる花切りてすすきを添ふれば秋の気配す
殊更に訃報続きて暮れ早き空にきらめく一つ星見る

浜田美代子
濱畑 松枝
松元 睦子
岩下 ち江
樫平 頼子
米尾 和子
坂之下典子
中山タマエ

一般作品

コナツにストローさして飲めというおそろもおそろも優しき味ぞ
ひとしきり絶えた筈だが熊蟬の鳴く声すればしばし歩を止む
八十を迎えし今に感謝して亡き父母の写真に祈り
黄の衣ふるいおとした銀杏樹は裸身となりてもこの地の守護神
人生は大事なんだよ考へる気は朗らかで此之世去るのか
木屋の二度咲きす年そら高くデルタ株やら消え去る気す
満月に近き月見て悦に入る「俳句」

小林 貢
小林 如月
中飯屋辰子
後藤ヨシエ
町田 末則
母木 良平
宗方 正喜

長島の
歌人集まる
広場あり

明神俳句会

澄む水の峽を出でては振り向かず
鉄扉錆ぶ防空壕や秋暑し
彼岸花耶蘇の島より日和雨
水澄むや三歩で渡る丸木橋
焼き肉の炭燃え尽きて秋に入る
牛小屋に電動カート秋暑し

淵脇 護
白男川孝仁
二階堂妙子
大堂 正弘
関 佳代美
山寄加代子

爽籟や家中の戸を開け放つ
鶴は羽を広げて立てり彼岸花
あれこれと回顧ばかりの夜長かな
夫恋えば里山こえて赤蜻蛉

坂口 静子
迫口 君代
関 喜久雄
大堂 早苗
二階堂恵子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



三千円の使いかた

著：原田 ひ香

世の女性たちは人生の節目とピンチを乗り越えるため、お金をどう貯めて、どう使うのか？



もちまる日記

著：下僕

見るだけで幸せになれる、癒やされる！もちまるのいろんな表情やしぐさで癒やされてください。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111